

県・市町村スポーツ推進協議会

目的

奈良県スポーツ推進計画に基づき、県と市町村の連携を強化し、もって、本県のスポーツ推進行政の更なる活性化を図るため、奈良県・市町村スポーツ推進協議会を設置(H25.8.28)。

委員

県内市町村におけるスポーツ担当課長等。また、協議会会長は奈良県くらし創造部スポーツ振興課長。

協議事項

奈良県スポーツ推進計画に基づき、次の事項について協議する。

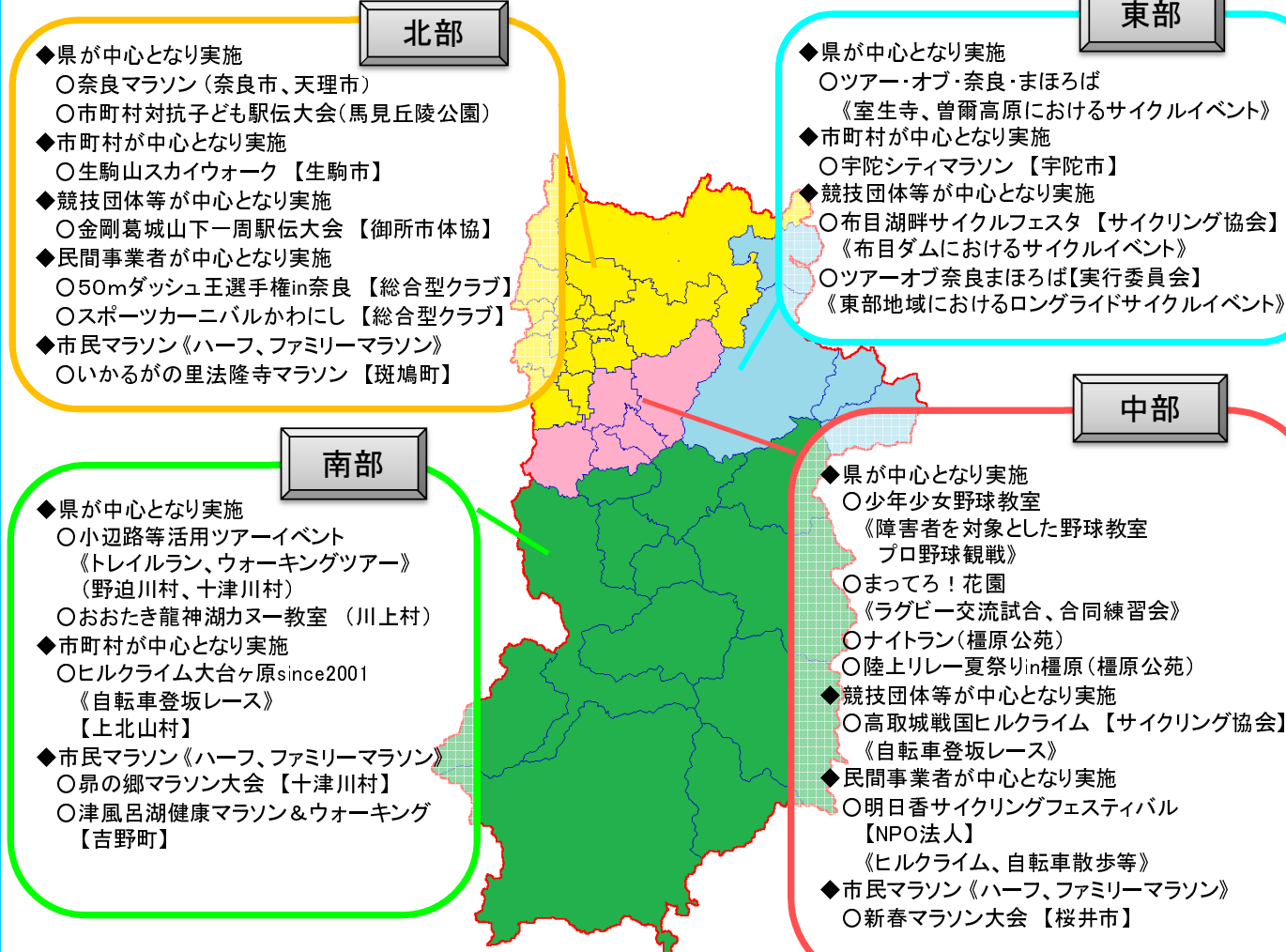
- (1) 奈良県下で実施されているスポーツイベントの効果的な連携策に関する事。
- (2) 奈良県内に所在するスポーツ施設の効果的な活用方法に関する事。
- (3) 奈良県におけるスポーツボランティア等の人材の活用に関する事。
- (4) 補助金その他スポーツ振興に係る助成制度の活用方法等に関する事。

平成25年度第1回県・市町村スポーツ推進協議会(H25.8.28)

議題(1)スポーツイベント等の連携について

- 基本的にどこも単独で事業を実施するのは難しくなっている。南部地域などは地理上の制約等で広域的なスポーツ連携をしづらい面もあるが、近隣との調整で広域的に実施できるものは好意的に考えたい。
- 教育委員会だけでは社会教育、生涯教育とやや堅めのイベントになりがちなので、観光面も含めたイベントを考えていくのはどうか。例えば奈良マラソンのような大会が南部にあってもいいのでは。
- 少年野球など子ども向けスポーツのチーム結成が難しくなっている一方、グランドゴルフのような高齢者向け軽スポーツは活発化している。
- 現時点では各市町村ごとに各自の体育協会等と協力してイベント実施している。マラソン大会については近隣の大学、高校等と協力して実施しているところが既にある。
- 隣地域どうしても意外と知らないイベントが多かったのも、そのようなイベント一覧などが情報共有できればありがたい。また、この共有情報を元に情報発信し、スポーツを媒体とした交流人口増加に活かしていきたい。

◎地域別スポーツイベントの状況(抜粋)

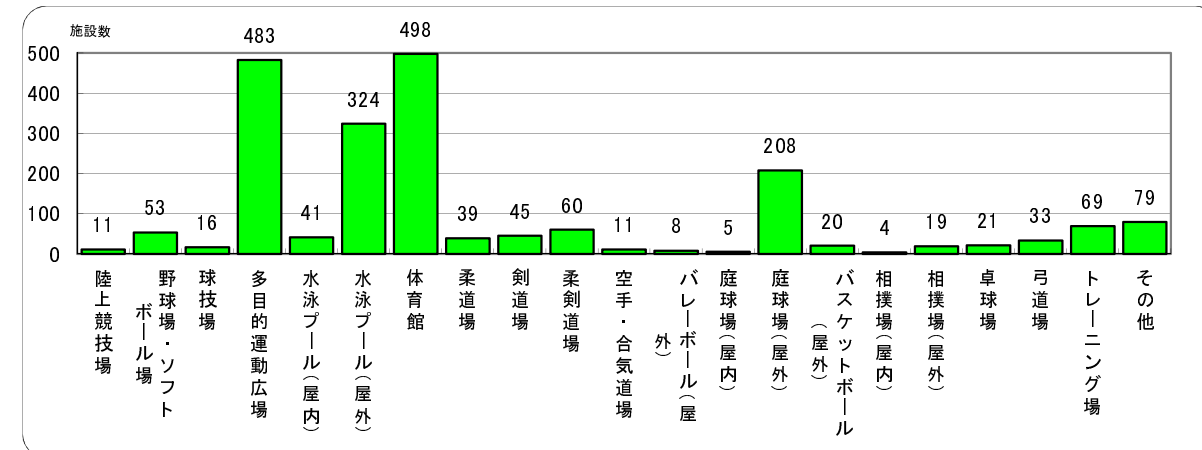


議題(2)県内スポーツ施設の整備、運用の連携等について

- わかさ国体(1984年)以降は施設がかなり老朽化しており、改修まで踏み込まず一部の修理で済ませているのが現状である。
- 体育館が不足しているところもあり、学校施設の転用で対応している。また、三郷町では奈良産業大学と連携しており、駅伝の際に大学施設を借りている。
- 市町村によっては体育館が閉鎖となる事例があり、そのような施設は近隣市町村で融通しあえないだろうか。県を通じてマッチングができるようにして欲しい。
- 施設が整っているところとそうでないところがあり、複数市町村にまたがる大規模大会を開催するには会場の調整が難しい。県が調整役を担ってもらえるとありがたい。
- 生駒・平群、王寺などでは、市町村間で同じ料金で使える等の施設相互利用を実施している。

◎県内の体育・スポーツ施設の設置状況(総数 2,047)

・2,047の施設のうち、小学校施設が607(29.6%)、中学校施設が491(23.9%)で全体の半数以上。県立施設は、18(0.8%)。



屋内空調設備のある体育館	9	1.8%
体育館総数	498	

夜間照明設備のあるグラウンド等	53	9.4%
グラウンド※総数	563	

※陸上競技場、野球場、多目的運動広場等

県内体育・スポーツ施設実態調査(平成24年3月)

- ・空調設備のある体育館が少ない
- ・照明設備のあるグラウンドが少ない

◎大規模大会開催を考えた際のスポーツ施設の問題点

- ・近畿大会レベル以上の開催が可能な施設が少ない。
- ・施設の広さなどの規模、空調や照明施設などの設備面が充実していない。